

# John Ellis Trio

## [Profile]

### ジョン・エリス John Ellis (ts)



ノースカロライナの小さい農場で育ち、幼少よりピアノとクラリネットを習う。

「North Carolina School of the Arts」に進学し最初はオーボエを学んでいたが1年後、この時期に大きな影響を与えた James Houlik に師事し sax に転向し Highschoolband で初め saxophone を演奏する。

卒業後、ニューオリンズに移り「University of New Orleans」に入学し Ellis Marsalis から多くを学び「Ellis Marsalis Quartet」に参加しニューオリンズを中心に活動を始める。

1996年、初のリーダーアルバム「Language of Love」をリリースするとともに活動の場をニューヨークに移し ニュースクールでさらにジャズを探究する。

2002年、「Thelonious Monk Saxophone Competition」で2位となり助成金を得る。

2014年に Parade Light Records より「MOBRO」をリリース。

John Patitucci, Dr. Lonnie Smith, MacArthur Fellow, Miguel Zenon, Charlie Hunter, Robert Glasper, Darcy James Argue, Edward Simon 等のレコーディングやツアーに参加しニューヨークでのファーストコールのサクソ奏者として認められている。

### 中村 恭士 Yasushi Nakamura (b)



東京生まれ、シアトルで育つ。

11歳でクラリネットとテナーサクソを習い始める。14歳の時にエレクトリックベースを始め1年後にはウッドベースを弾き始め、Chuck Deardorf, Doug Miller, and Michael Stearns 各氏に師事し、ライオネルハンプトンジャズフェスティバルアワード、ルイアームストロングジャズアワード、他多数受賞する。

'00年にニューポート高校を卒業後、パークリー音楽大学へ入学し、Whit Browne, Hal Crook, Ron Mahdi, John Lockwood, Phil Wilson 等に師事しジャズを学ぶ。

同校卒業後、奨学金を得てジュリアード音楽院に入学し Ben Wolfe(b), Victor Goines(ts) 等に師事し '06年に卒業する。その後の活躍はめざましく、世界各地のジャズ・フェスやツアー、レコーディングに参加している。

主な共演者は Clarence Penn(ds), Nathan Davis(reeds), Johnny Griffin(ts), Carl Allen(ds), Wynton Marsalis(tp), Toshiko Akiyoshi(p), Wess Anderson(as), Darren Barrett(tp), Ron Blake(ts), Brian Blade(ds), Jimmy Cobb(ds), Xavier Davis(p), Benny Golson(ts), Benny Green(p), Jon Hendricks(vo), Hank Jones(p), Winard Harper(ds), Dave Liebman(ts), Joe Lovano(ts), Romero Lubambo(g), Wynton Marsalis(tp), Bernard Purdie(ds), Wallace Roney(tp), Herlin Riley(ds), Loren Schoenberg(reeds) 現在、Ali Jackson Trio, Carl Allen Quartet, David Berger Jazz Orchestra, New Century Jazz Quintet 等で活躍中

### ケンドリック・スコット Kendrick Scott (ds)



1980年テキサス州ヒューストン生まれ。

音楽一家に育ち、幼少の頃に通った教会でドラムと出会い、熱中する。

地元のパフォーミング・アートが盛んなことで有名な高校へ進む。(この高校はマイク・モレノ、ロバート・グラスパー、ジェイソン・モラン、エリック・ハーランド等を輩出している。) 高校時代に「ダウンビート・マガジン・スチューデント賞」、「クリフォード・ブラウン/スタン・ゲッツ賞」を受賞。

パークリー音楽院に奨学金を得て入学。そこでパット・メセニー、ゲイリー・バートン、ケニー・ギャレットと共演。卒業と同時にジョー・サンプルとテレンス・ブランチャードより共演の依頼を受ける。

2003年、ニューヨークに拠点を移してから30枚以上のアルバムに参加。

2006年、自身のグループ「Oracle」のファースト・アルバム『The Source』をアロン・パークス、ロバート・グラスパー、リオネル・ルエケ等と録音。2007年、テレンス・ブランチャード・クイテットのアルバム『A Tale of God's Will』に参加。このアルバムは2008年のグラミー賞にノミネートされている。同年、モンレー・ジャズ・フェスティバルに「50周年記念オールスターズ」としてジェイムス・ムーディ、ニーナ・フリーロン、テレンス・ブランチャード、ベニー・グリーン等と出演。

2009年、2枚目のリーダー・アルバム『Reverence』をウォルター・スミス、マイク・モレノ、ジェラルド・クレイトン等と録音。

2015年、ブルーノート・レーベル移籍後第一弾最新アルバム『ウィ・アー・ザ・ドラム』をリリース。

これまでにハービー・ハンコック、ジョン・スコフィールド、マリア・シュナイダー、ウェイン・ショーター、ミュージック・ソウルチャイルド、クリスチャン・マクブライド、デヴィッド・サンボーン、ダイアン・リーヴズ、ジョン・パティトゥッチ、ザ・クルセイダース、カート・ローゼンウィンケル、ステフオン・ハリス、ニコラス・ペイトン、ロイ・ハーグローヴ等と共演している。また、スパイク・リー等の映画音楽にも多数参加している。